



Harvest Horizons

-Agri/Food tech to North America-

Agri/Food Techコース | No. C213

募集要項

応募締め切り：2024年8月19日（JST）



INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要



目的

アグリテックビジネスでの米国市場参入促進に当たる基礎知識、PoC検証や現地の販路チャネル（大規模小売店、大手卸売り業者など）や協力パートナーや人材の発掘、及び現地投資家とのコネクション形成を目的とする

派遣先

米国・サンフランシスコ

募集対象

対象企業	日本に本社のある日系スタートアップ
ステージ	シード～シリーズC
分野	アグリテック・フードテック
その他	・米国でAgriビジネスを拡大する意欲があること（PoC等を含め） ・市場に展開・拡大するプロダクトを有すること

*渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください

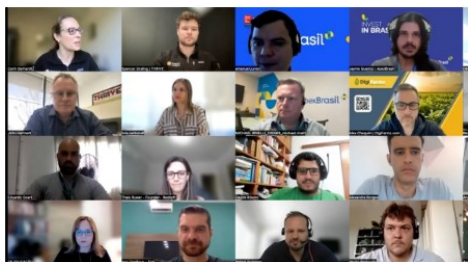


02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像



1

オンラインプログラム(6週間)
9月3日-10月15日・予定



(10-12社選定)

メンター（Agri専門家、在米日系大手企業等）の紹介、Agri分野や米国市場展開に関する各種ワークショップ、潜在顧客やPoC先の紹介、1:1メンタリング、他国コホート(ブラジル・欧州)とのネットワーキングセッション

2

オンラインデモデイ
10月22日 予定



(5社選定)

各種メンタリングの成果や北米進出へのポテンシャル等を評価する為、日米ステークスホルダーを招いたデモデイをオンラインで実施。当デモデイを基に、渡航プログラムへ参加する5社を選定。

2

渡航プログラム①
11月4日-11月8日



Thrive Impact summit への参加等
(5社)

運営アクセラレータ/VCのThrive SVG Venturesがホストする、Agritech向けのサミット（@サンフランシスコ）への参加を通し、他国コホートと共に、各種企業へアプローチする機会。その他、現地エコシステムツアー(Co-laboratory space 見学や農場見学等)も企画中。

4

渡航プログラム②
3月10日-14日



World Agritech conferenceへの参加
(5社)

来年3月中旬に開かれる北米最大級のAgritech向け展示会、World Agritech conference参加を通して、農場関係者・大手企業・投資家等へアプローチするチャンス。1年を通して作ったネットワークやブラッシュアップしたプロダクト・サービス等を営業する機会。

1 国内プログラム | オンライン

北米のアグリビジネスの基礎知識等のインプット、メンタリングを通したビジネスモデルのブラッシュアップ、潜在顧客やパートナーのリスト化、他国コホート（ブラジル・欧州）とのネットワーキングセッションなどをオンラインで実施

定員 12社（各社2名まで）

日程 2024年9月-10月中旬

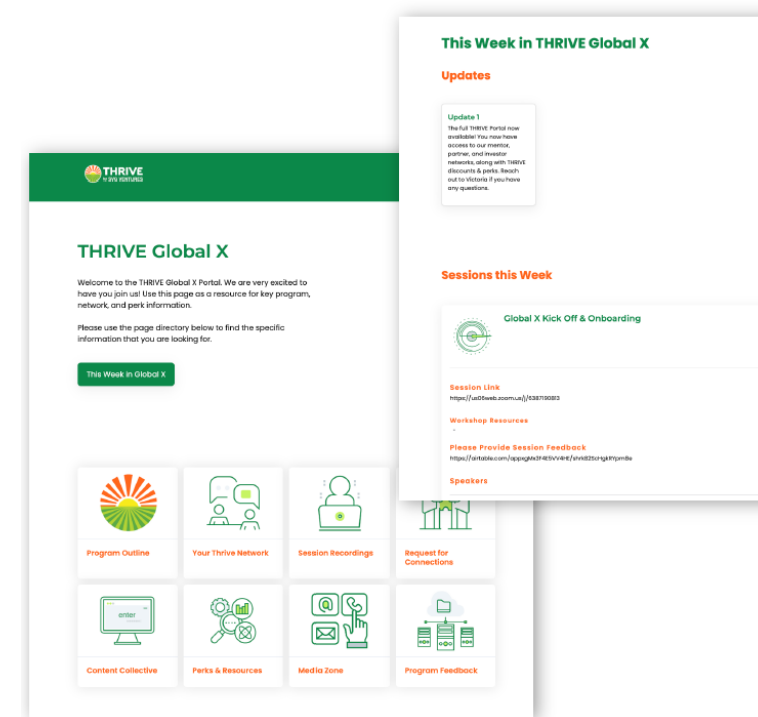
概要

- 全体セッション・セミナー

- マインドセット形成や、北米のアグリビジネス市場トレンド、ピッチトレーニングに関するワークショップなど
- 北米農場関係者や大手企業へのアプローチ法の伝授、法務に関するセミナーなど
- 他国コホート（ブラジル・欧州）とのネットワーキングセッション

- 1:1メンタリングセッション

- 2週間に1回、80名以上のメンターとの壁打ち



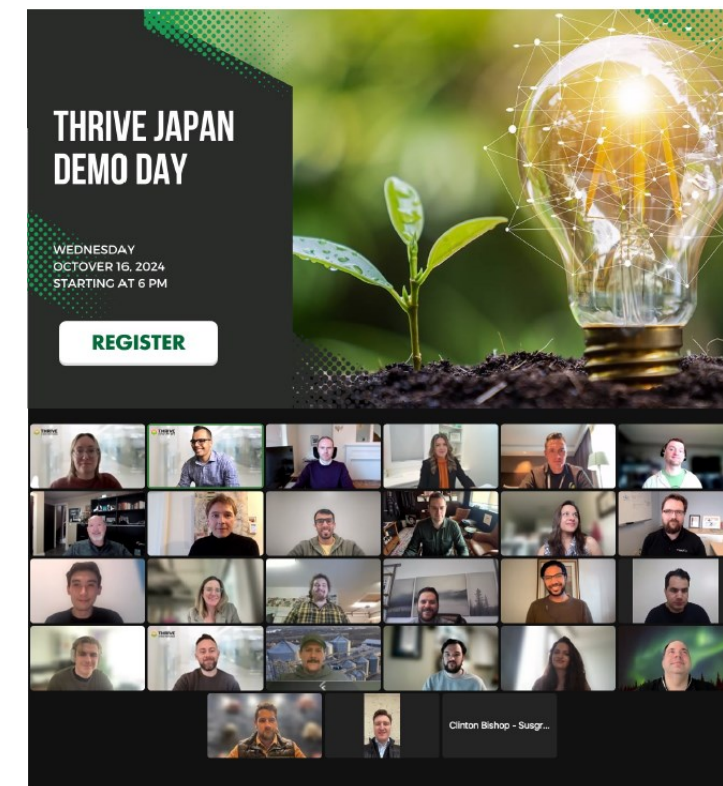
2 オンラインデモデイ

参加者の本プログラムにおける成果を各ステークホルダーに示すデモデイを実施（日米VCが主）。当デモデイで、渡航企業最大6社を選定。

日程 2024年10月22日 予定

概要

- ピッチの準備
 - Thriveメンター陣によるピッチのメンタリング実施
- デモデイ
 - Thrive、JETRO、参加者の全参加者、日米VC、各種大手企業等でバーチャルイベントを実施し、5分程度のピッチを実施
 - 渡航企業最大6社を選定



3 渡航プログラム① | Thrive Impact summit 2024への参加、各種現地面談等

米国市場での販路拡大に向けて、実際に米国に渡航し、メンターと共にPoC先やパートナーの詮索へ

定員 5-6社（各社2名まで）

日程 2024年11月4日-11月8日

概要

- 今年度のThrive Impact Summitへの参加 (11月7日実施)
 - 23カ国、300以上のアグリ関係者が集うサミットへの参加を通し、潜在パートナーなどへリーチ
- Thrive メンター陣とのフォローアップミーティングやGroup session
 - Thriveメンター陣とのフォローアップ面談やグループセッション、ピッチの見直しなど
 - 潜在顧客や投資家との面談、他国コホートとのネットワーキングイベントなど
- UC DevisやDriscoll's Berriesなどへの訪問ツアー（企画中）
 - サクラメントに位置するUC Devisの共同研究ラボやDriscollなどのインキュベーション施設への訪問計画中



4 渡航プログラム② | World Agritech innovation Summitへの参加、各種現地面談等

世界最大級のAgritech向け展示会参加を通し、現地パートナー等の探索やPoC実施を目指す（希望参加）

定員 5社（各社2名）

日程 2025年2月頃にバーチャルセッション
渡航日程；2025年3月10日-14日

概要

- 今年度のWorld Agritech summitへの参加
(2025年3月11-12日実施)
 - 2500以上のアグリ関係者が集うイベント参加を通し、潜在パートナーなどへリーチ
- Thrive によるclosedなイベントへの招待など
 - 潜在顧客や投資家との面談、Thrive主催の投資家向けピッチ参加など
 - メンター陣とのフォローアップ面談など



Thrive by SVG Ventures

URL: <https://thriveagrifood.com/>



支援機関情報

SVG venturesは、世界最大級のAgtechに投資する北米Venture capitalで、40以上のコーポレートパートナー、80以上の投資実績がある。Thriveは当SVG Venturesが持つアクセラレータームであり、世界中から400を超えるメンター陣を抱え、北米に農場パートナーを抱える在米日系企業もメンターとして入っている。以下が彼らのパートナーである。



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンター候補者の例

★Thrive by SVG venturesチーム：特にFounderのJohn Harnett氏が数多くのコネクションを有する



JOHN HARNETT
Founder & CEO



HELEN HARNETT
COO



JOHN CASSIDY
Manager Director Canada



DANNY O'BRIEN
Managing Director EMEA



PETER ECKES
Venture Partner

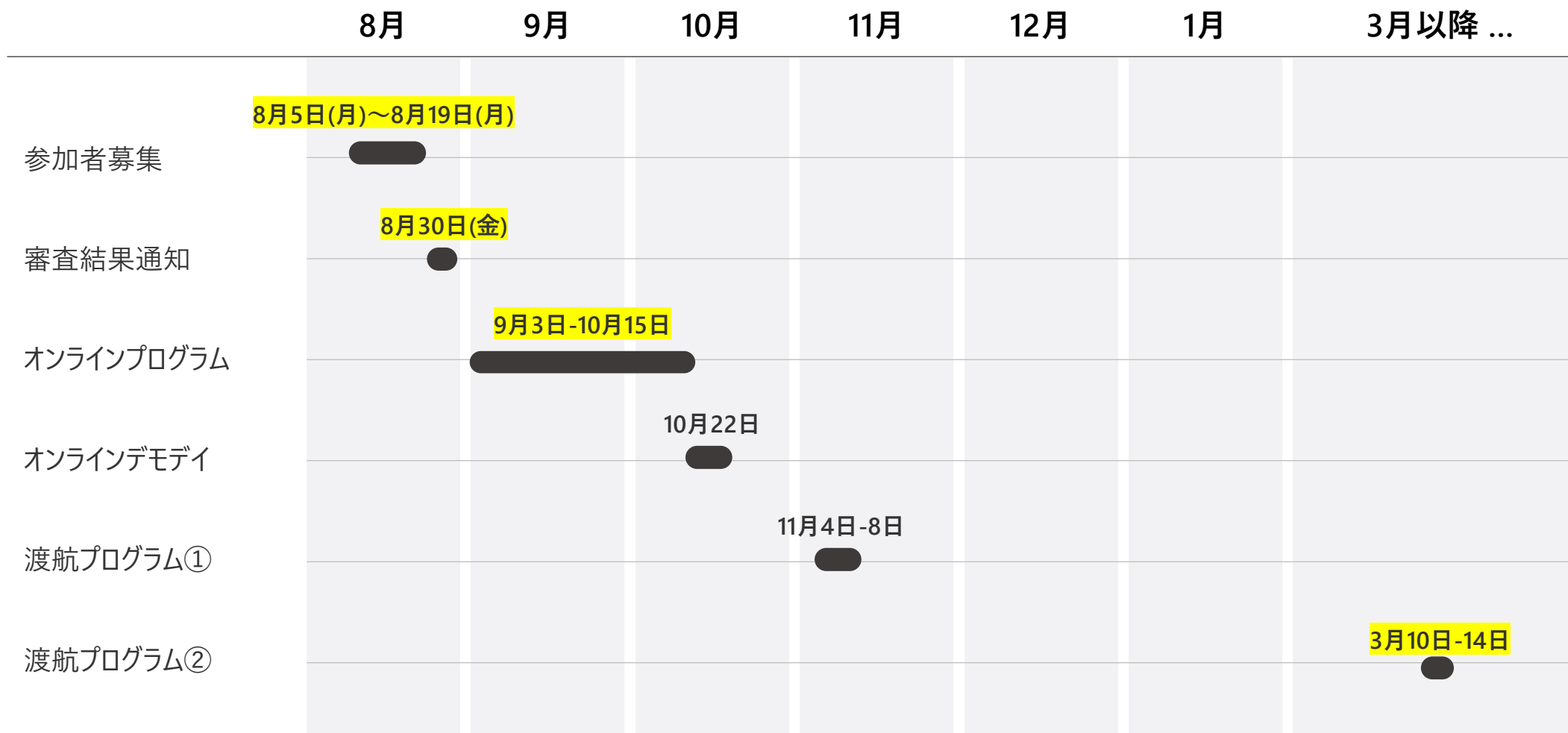


GREG YOUNG
Venture Partner



★Thrive以外の400名を超えるメンター陣は、[こちらをクリック！](#)

03 SCHEDULE | スケジュール



定員

- ・ オンラインプログラム：最大12社（各社2名まで）
- ・ 渡航プログラム：最大5社（各社2名迄）

対象企業

対象企業	日本に本社のある日系スタートアップ
ステージ	シード～シリーズC
分野	アグリ、フードテック
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国でビジネスを拡大する意欲があること ・ 市場に展開・拡大するプロダクトを有すること

応募要件

プログラム参加者*1は以下の全ての条件を満たすこと

- ・ 日本に本社のあるスタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方
日系スタートアップに所属する方である限り国籍は問わない
- ・ 商談可能な英語力を有すること
- ・ 潜在パートナーに提示するプロトタイプを有すること
- ・ 参加後のアンケート等に協力いただけること*2
- ・ 本プログラムが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方

*1米国カンファレンスへの参加費用支援は原則1社2名まで（自社負担で同行は可）とし、本プログラム支援対象者は、オンラインプログラム・個別メンタリングへの参加を原則とします

*2本プログラムは経済産業省・ジェトロが連携して行うプロジェクトであり随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します

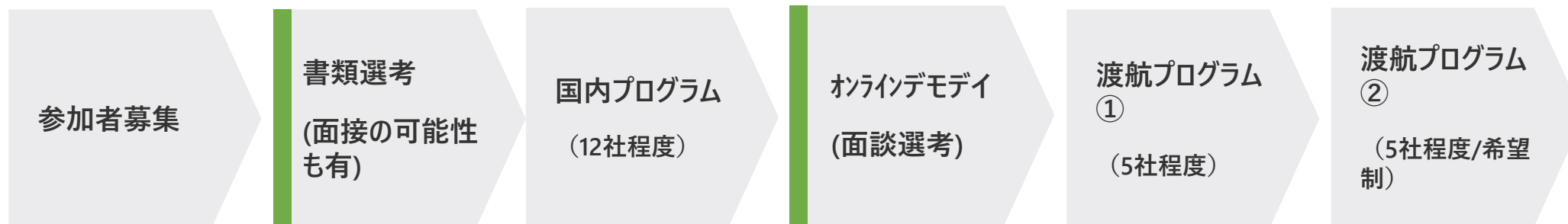
参加者による費用負担

- 国内移動費
- 米国渡航費（航空券）（渡航プログラム①・②）
- 海外での移動、飲食費用、通信費、VISA代、保険費などのその他発生する費用
- 希望制の渡航プログラム②に関する宿泊費
- その他「主催者による費用負担」以外のすべての費用

主催者による費用負担（現物支給）

- 各種カンファレンス/ミートアップ参加用入場パス（渡航プログラム①・②）
- メンタリング等のプログラム料（渡航プログラム①・②）
- 渡航プログラム①実施機関中の米国宿泊費

※上記は全てジェトロにて手配の上、支給いたします。参加者に上記費用をお支払いする主旨ではありません



選考基準

- 招聘するメンターならびにJETROがサポート可能であること
- 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- 製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 市場需要を証明するトラクションがあること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- 他のJ-starXに参加された企業様に関しては、場合により参加できますが、選考の可否はジェットロにて判断いたします。

応募フォーム

2024年8月19日(月) 17:00 (JST) 締切

-
- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
 - 必要に応じ、JETROによる個別面談を行う可能性があります
 - 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください

応募完了までのプロセス

Step 1

当プログラムへの参加登録

前頁の応募フォームからお申し込みください

Step 2

ピッチデック格納（アップロード）

弊機構のシステムの都合上、作成したピッチデック資料を別のURL内のファイルドライブへ格納

■ピッチデック資料の格納先は[こちら](#)

- ※ 添付URLフォームでの提出が難しい方は、JHUB@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください
- ※ メールの件名は「**Agritech_企業名_名前**」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください
(名前の部分にはご自身の名前をご記載ください)
- ※ 原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換

ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点を守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、最大5ページでご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（ファイルサイズは3MB以下）
- ファイル名は「Agritech_企業名_名前.pdf」としてください
（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）
- 2024年8月19日(月) 23:59（JST）までにご提出ください

■ ピッチデッキ資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の4項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. 解決したい課題の内容
2. プロトタイプの概要（写真や図、文章を用いて）
3. 事業の拡大戦略
4. プロトタイプにおけるアピールポイント・強み

※資料は英語でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

1. 本プログラムの参加費用支援は、原則1社2名まで（自社負担で同行されることは問題ありません）
2. 本プログラムの参加については、原則2名は意思決定権のあるCXOクラスの方の渡航をお願いします
3. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにもメンターおよびJETRO職員が同行して、帰国後の成果把握、進捗確認などにご協力をいただきます
4. 本プログラムの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください（公開内容は事前に確認をします）

免責事項

[免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、渡航日程決定後のキャンセルは認められません
キャンセル料、もしくは変更料が発生する場合は自社にて負担いただきます

コース名 Agritechコース

会社名 JETRO イノベーション部 スタートアップ課

担当者 加賀

メール JHUB@jetro.go.jp

